

第 152 回中材業務及び感染対策研究会 報告

コロナ禍の感染予防対策が続く中、第 152 回研究会が開催されました。

当研究会においても、受付での検温、クラスター発生対應用紙の活用、WEB 配信等の対策を施行しています。今回も WEB での配信を予定しており、96 名の参加者と 17 企業の皆様のご協力のもとプログラムを終えることができました。ここで、1 日のプログラムをご紹介します。

【特別講演 1】

【医療現場における滅菌保証ガイドライン 2021 の改定ポイントの概要】

大阪大学医学部附属病院 手術部・臨床工学部・材料部・サポライセンター病院教授

高階 雅紀 先生

高階先生からは、『滅菌保証のガイドライン 2021』について、改訂の経緯やコンセプト、ポイント等についてお話を頂きました。2021 年改訂のポイントとして、滅菌供給部門におけるバリデーションの重要性について説明がありました。洗浄パートには、「医療現場における洗浄」「用手洗浄」「減圧沸騰洗浄器」「洗浄評価」の章が追加され、お話の中でも詳しく説明して頂きました。

今後、洗浄評価と滅菌バリデーションを第一歩として、業務を見える化（評価）し、滅菌供給部門の地位向上を目指す医療機器学会の方針が強く印象に残っています。



【教育講演 1】

滅菌供給部門で対処しなければならないスタッフの健康問題

～血液・体液曝露対策だけではいけませんよ！～

一般社団法人日本感染管理支援協会 代表理事

土井 英史 先生

土井先生からは、医療従事者の健康問題について、「物理的危険」「化学的危険」「生物学的危険」の 3 つの観点からそれぞれの業務上の問題についての予防と対策をお話を頂きました。海外と比較して、日本はそれらの予防や対策が遅れています。日常の職場環境が、医療従事者の健康に影響を及ぼす潜在的な危険について、改めて考えさせられる内容でした。以前から土井先生がお話されている人間工学を考慮した職場環境についても、自身の職場を思い出しながら聴いていた方も多いのではないでしょうか。



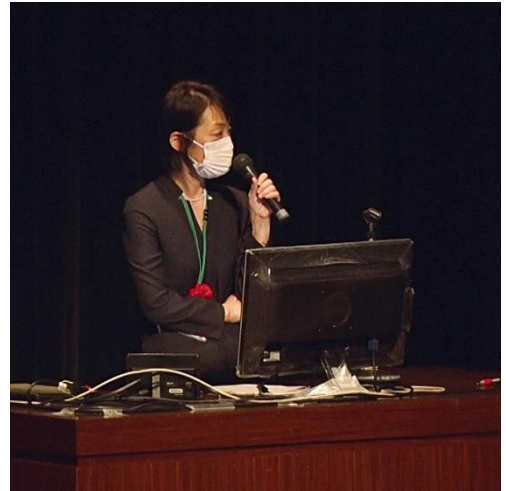
【教育講演 2】

コロナ禍でもいつも通りに行わなければならない感染対策
～精度管理と簡素化は実践では重要です！～
《シリーズ Part I 尿路感染予防》

1. カテーテル関連尿路感染予防の基礎と感染管理ベストプラクティス

橋本市民病院 看護部 感染管理認定看護師
神保 昌世

この教育講演では、まず私がカテーテル関連尿路感染予防についてお伝えして、自施設での実践を報告させて頂きました。感染予防対策の基本として、2009年のCDCガイドラインをもとにエビデンスのある感染対策をご紹介しました。まず、尿路感染症についてお話し、カテーテル関連尿路感染のリスク因子、カテーテルの適切な使用と不適切な使用について、適切な挿入手技、適切な管理方法についてお伝えしました。そして、自施設で感染管理ベストプラクティスの手法を用いた実践結果をサーベイランスにより評価した事例をご紹介しました。



2. 精度管理と簡素化を再考した陰部洗浄の見直し

一般社団法人日本感染管理支援協会 代表理事
土井 英史 先生

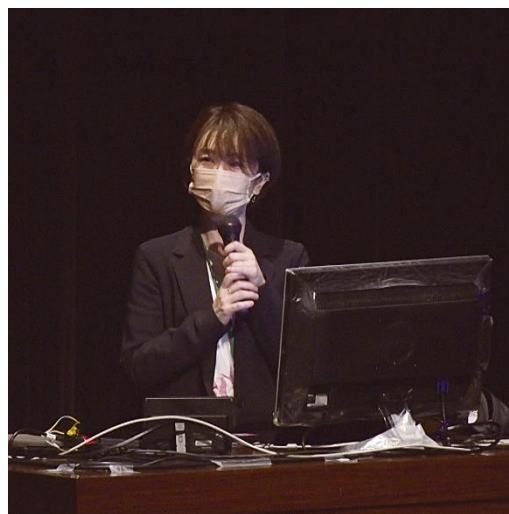
先生からは、陰部洗浄の見直しということで、再使用洗浄ボトルの清浄化の精度管理についてお話し頂きました。清浄化の方法として、ご施設では用手洗浄後の浸漬消毒や機械洗浄等様々な方法を用いていると思います。先生のお話を聴いて「自施設に帰り確認を」と考えた方もいたのではないのでしょうか…。用手洗浄における標準作業手順書、機械洗浄における機械の性能、洗浄ボトルの代替としての紙コップ等、精度管理と簡素化について認識し、自施設を振り返る機会となるお話しでした。



3. 尿路感染予防とテクノロジー

株式会社 メディコン UCC 事業部マーケティング部
クリニカルサポート マネージャー 感染管理認定看護師
並木 弥生 先生

並木先生からは、フォーリーカテーテルの名前の由来からお話しは始まりました。カテーテルの材質が尿路感染に影響すること、カテーテルの固定の重要性について分かりやすく説明がありました。また、陰部洗浄と陰部清拭について、日本と海外の違いやカテーテル関連尿路感染の発生率に有意差がないこともお話し頂きました。尿道留置カテーテルや導尿にかわる女性用体外式カテーテルもご紹介頂きました。カテーテル関連尿路感染予防について、1.2.3 と関連づけて聴いて頂けたのではないのでしょうか。



【特別講演 2】

新型コロナウイルス感染症の感染対策で見た様々な問題点とその対応

三重大学医学部附属病院 中央検査部 教授 感染制御部 部長
田辺 正樹 先生

田辺先生からは、新興・再興感染症対策について、これまでのインフルエンザパンデミックの歴史、感染症法や新型インフルエンザ等対策特別措置法、BCP についてお話しして頂きました。そして、COVID-19 における行政の対応と医療機関での対応について、双方の現場をご経験された先生だからお話頂ける、とても興味のある内容のご講演でした。

クラスター対応についても具体的に分かりやすく、お話しして頂きました。今後、コロナが通常診療になることを想定し、コロナと共存していくことやコロナの経験から次のパンデミックに向けての課題など色々と考える機会となりました。



今回、第 152 回の研究会は、ご参加の皆様と企業の皆様のご協力により開催することができました。午前中は、中材業務に関する内容であり、午後からは感染対策に関する内容とし、最後はコロナに関する特別講演というプログラムでした。それぞれ、貴重なお話を頂いた先生方に感謝申し上げます。

中材業務といった専門分野の内容から、日常の医療や福祉現場で実践する感染対策についてまで、今後も沢山の情報をお伝えできればと考えております。

これからも中材業務及び感染対策研究会をどうぞよろしくお願いいたします。